



「桜」いそはた みか

# 岩崎城だより

No.64

2024/4/1

## 甲冑着用体験

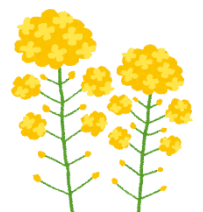
本物そっくりな甲冑の着用体験会です。軽くて簡単に着られます。岩崎城で武将気分を味わいませんか？カッコいい甲冑を着て、映える写真を撮りましょう！

4月29日(月)、5月5日(日) 予約制(4月21日 9:00～) 対象:中学生以下  
詳しくはホームページをご覧ください！

## 館長のおはなし

3月2日より岩崎城では新しい冊子を発行しました。「岩崎城・日進の戦国時代を刻む史跡」と題した30ページ、フルカラーの冊子です。内容は岩崎城の歴史、小牧・長久手の戦い、岩崎城の戦い、岩崎城の遺構について、丹羽家の歴史、日進市の城跡、丹羽家ゆかりの品、岩崎城のイベントなど盛りだくさんの内容です。毎年実施している岩崎城検定の初級のテキストとしても利用できます。

その岩崎城検定は今年、上級をスタートします。これは上級例題です。「問、岩村藩主丹羽氏音は元禄15(1702)年、藩内の争いを止めることが出来ず、所領を一度没収されている(岩村騒動)。この争いの中心人物である岩村藩側用人はだれか。①山村瀬兵衛 ②鈴木主水 ③水野清蔵 ④与語半助」といったような丹羽家に関しては幕末までの丹羽家や分家の丹羽家なども問われます。ちなみにこの問題の正解は①の山村瀬兵衛。岩村藩の家老丹羽覚左衛門の弟で用人として丹羽家に仕えていた人物。藩政改革を任され成果を上げますが、活躍している瀬兵衛を妬んだ他の家臣たちにより陥れられるなど丹羽家内で騒動となり、結果藩主氏音は藩政が出来ていないことを幕府に問われ、岩村の地を取り上げられることになりました。



## イベント情報

### 「日進市菊花大会 菊づくり講習会」

第1回 5月25日(土)  
10:00～

初心者の方でも大会実行委員が丁寧に教えます。第1回は菊の苗をポットから鉢へと植え替えます。第2回、第3回と菊の植え替えを行い、立派な大菊を育て上げるお手伝いをします。



### にわさきくん

4月28日(日)、5月3日(金)  
11:00～11:15 / 14:00～14:15

にわさきくんがお出迎えます。出陣日にはキャラ印も頒布します。甲冑探しの旅から戻り、新しくなったにわさきくんにぜひ会いに来てください！



### 「岩崎城刀劇隊 剣術道場」

4月21日(日)  
11:00～ / 14:00～  
1回 30分程度  
参加無料・定員なし 雨天中止

簡単な刀の扱い方、剣舞やポーズを学びます。剣術道場では「岩崎城侍大将への道」カードも配布しています。参加回数でどんどん位が上がり出世していくスタンプカードです！本格的な剣術を習ってみませんか？



### 「アートセッション in 旧市川家住宅 ボックスアート作品募集」

【回収締切日】  
5月29日(水)  
【展示期間】  
6月1日(土)～6月16日(日)  
対象:高校生以下

箱のサイズは 13×19×4cm 程度。岩崎城歴史記念館でも購入可(100円)。「市制30周年」「30」から連想するものをテーマに作ってください。完成した作品は当館か旧市川家住宅にご持参ください。詳しくはHPをご覧ください。



岩崎城でお待ちしています！

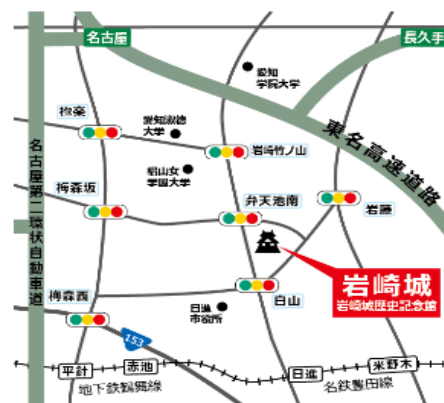
## 「岩崎城だより」

発行日 2024年4月1日(年4回発行)  
編集・発行 岩崎城歴史記念館

〒470-0131  
日進市岩崎町市場 67 番地  
Tel 0561-73-8825  
Fax 0561-74-0046  
<http://www.mf.ccnw.ne.jp/iwasakiyo>

◆開館時間  
9:00～17:00

◆休館日  
月曜日  
(祝日の場合は開館)  
12月28日～1月4日



# 岩崎城検定〈初級第4回・中級第3回・上級第1回〉



【初級】5月25日(土)10:00~11:00 / 5月26日(日)10:00~11:00

【中級】5月25日(土)14:00~15:00

【上級】5月26日(日)14:00~15:00

申込期間:4月21日(日)~5月12日(日)

検定料:【初級】500円【中級】800円【上級】1000円

(認定証発行料、送料など)

今年は岩崎城検定上級が登場！  
小牧・長久手の戦いや岩崎城の縄張り、岩崎城発掘調査などが含まれます。岩崎城や小牧・長久手の戦いについて深く学んでみませんか？

## 岩崎城検定対策講座

日時:4月20日(土)10:00~11:00

申込期間:3月30日(土)9:00~

参加費:無料

会場:岩崎城歴史記念館

検定初級に向けた  
対策講座を行います！  
岩崎城検定初級合格に向けて  
わかりやすく解説します！  
ぜひご参加ください♪



詳しくは岩崎城 HP へ

## 岩崎城歴史講座



### 第1回「もっと知ろう！日進の文化財」

講師；村田信彦（当館館長）

日進市にどのような文化財があるか知っていますか？岩崎城、旧市川家住宅、馬の頭・・・ほかにも日進市には後世へ残していくべき文化財がたくさんあります。どのような古いものがあるか学んでみましょう。

6月22日(土)13:30~15:00

【募集期間】

6月1日(土)~

当館までお電話ください。

9:00~17:00

月曜休館

・参加費無料

・定員30名



とりちゆうぶた  
鳥鈕蓋(日進市指定文化財)

## 小牧・長久手の戦いから 440年！

1584年は織田・徳川軍と羽柴軍が争った「小牧・長久手の戦い」が行われた年です。今年の2024年は小牧・長久手の戦いから440年の年になります。

尾張国で戦が行われるきっかけが池田恒興による犬山城攻略。その開戦日である3月13日より犬山城、小牧山城、岩崎城の3城から限定合戦印が販売されました。



発売日:令和6年3月  
13日(水)9時~  
(なくなり次第終了)  
販売価格:1枚300円  
(専用封筒付き、  
お一人様につき3枚  
まで)

※犬山城のものは3月21日に完売しました。

# 岩崎にまつわる民話

## 三ツ池から龍がのぼる

岩崎おんたけ山では、山菜やきのこなどがたくさんとれた。里人がある初夏のころ、山菜をとりに山の谷間にある三ツ池のほとりまでやってきた。その日は曇りがちの空で、吹き下りてきた風に黒い雲がまいりて来るのを見た。黒い雲が池の水面まで下りてきたと思うと、池の中から白い龍巻のような白いうねりが黒雲とからまるようにぐるぐる巻きながら空に昇っていく。里人はそのような様子を見て呆然とその場と立ちすくんで、おどろきとも恐れとも何とも言えない気もちでながめていたという。里に帰つてこのことを村人につげると、「三ツ池から龍がのぼる」というようになった。

## 収蔵品紹介

### ◆ 丹羽玉邦「芦と双鴨」◆

丹羽玉邦が芦と鴨のつがいを描いた作品です。鴨は冬場につがいとなり春に繁殖地へ向かうため、冬から春にかけて描かれたものでしょうか。静かな水面を優雅に泳いでいます。

丹羽玉邦は戦国時代の岩崎城2代目氏識の弟氏征の子孫です。名前は俊三と言ひ、幼い頃祖母(高木雪居の娘)から灰の上に絵を描き教えてもらつたとされます。石河有鄰、川合玉堂、橋本雅邦に師事。のちに玉邦と号し、一筆画を得意としました。大正時代から昭和初期にかけて愛知県で活躍した代表的な日本画家の1人です。



丹羽玉邦「芦と双鴨」